

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類			
原子炉建屋内	RB	RB 3	1	時間	番 号 30-14-02
タービン建屋内	TB		2	距離	
R ZONE	R		3	遮へい	
Y ZONE	Y		4	線源の除去	
G ZONE	G		5	遠隔、自動化	
その他 ()	Z		6	汚染拡大防止	
			7	その他	
内 容		3号機オペフロへのドーム屋根他設置作業における被ばく低減対策			
作業場所		1F構外（小名浜地区） / 1F構内			
概 略		1F-3号機 原子炉に設置してある使用済み燃料を撤去・移動するため、建屋上に堆積したガレキの撤去ならびに使用済み燃料移送のための新規建屋等の設置を行った。			
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	17,621	1,578	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細					
対策前 3号機原子炉建屋屋上・建屋周りは高線量率であり、作業の合間の待機時に被ばくする恐れがあった。 対策内容 作業中の待機時間に備え、遮へい機能を持つ待避所を設置し、待機時の被ばく低減を図った。					
 3号機西側の待避所		 待避所内部 (外部の様子を確認可能) (免震棟リモート室と通信可能)		 オペフロ構台上の待避所 (BOXカルバートを活用)	